

12月12日 報告会

栃木アニマルセラピー協会

※コロナ禍以前の活動。

- ・病院や高齢者施設や病院でのドッグセラピー活動
- ・道の駅、ショッピングセンターでの啓発活動
- ・運営する「いぬかふえ」

病院や高齢者施設や病院でのドッグセラピー活動

スタッフが驚くほどの笑顔を見せられるかた、  
うれしさに涙されるかたもいらっしゃいました。

※コロナ禍で

- ・病院や高齢者施設や病院でのドッグセラピー活動＝中止
- ・道の駅、ショッピングセンターでの啓発活動＝中止
- ・運営する「いぬかふえ」＝休業

※今まで活動していた病院や、高齢者施設の利用者様が  
楽しみにしていたいたドッグセラピーがなくなり  
さみしく感じられているのでは？

※ボランティアさんの提案

「せめて動画で犬たちとふれあっていただけないか？」

JACVO、地元システム会社の協力を得て  
プロジェクトスタート

※協会のボランティアさんは50代以上が中心

動画を撮影してくれる人が見つからず  
動画に抵抗があるという声もありプロジェクトは進まず

※30代、40代のボランティアさん数名と、  
理事長と手探りで動画撮影をはじめます。

※動画を YouTube に配信するたびに  
協会、運営カフェの SNS で案内を流していました。

※SNS グループ

可愛い

癒されます

コメントが毎回 4～5 件はいるようになりました

※口コミなどで広まったのか？

障がいのあるこどもや、引きこもりのかたから

ドッグセラピーに関する問い合わせが来るようになりました。

※今後の展開

今回の助成を受けてカメラ周辺の機材等整えることができました。

引きこもりや、障がいのあるかた、入院中のかたにむけて

テレビ電話で遠隔ドッグセラピーに発展させたいと考えています。

NPO法人栃木アニマルセラピー協会

青木美樹